

平成 31 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域は良好であった。 ・国語が「大切だ」「役立つ」と考えていた生徒が多くいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめて発信することについて、まとめるための手順や工夫する力の育成のため、文章を書く機会を増やし実践につなげる。
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料の活用」については全国平均と比較して大きな差はなかった。また、資料を整理し、問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することは良くできていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の内容を含め、既習内容が理解できていない生徒や授業中は理解できるが復習等を自主的にはしないため定着しない生徒が多い。いろいろな場面で説明が必要になるので、大切な学習内容を必ず復習してから、新しい内容に入るようにする。
英 語	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りや情報を受け入れて判断する力は良好であった。 ・英語学習が大切であると考える生徒が多く、学習意欲も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に対話的な授業展開を意図的に取り入れる。 ・自分の考えをまとめて表現する情報発信能力の育成を図る。

質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習の重要性を理解し学習意欲もあるが、自分は認められていない、難しいことに挑戦できない等、自己肯定感が低い生徒が全国平均との比較から多く存在することが読み取れる。また、話し合い活動を通して思考を深めたり、互いのよさを生かした解決方法を見いだしたりすることができる生徒が少ない。
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を習得、活用・発展できる力を身につけるために、課題解決学習の推進と言語活動の充実を図る。 ・個々の生徒の状況把握と情報共有を基盤としたチーム支援体制を構築、実践する。 ・これまでの取り組みを「言語活動の充実」の視点で見直し、ふさわしい指導を共有し、指導計画に明示する。また、校内研究に「言語活動の充実」を位置付け、指導の在り方を引き続き探求していく。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携した学習習慣の定着に向けて、大磯町で導入したeライブラリー・アドバンスの活用を図るよう努めます。 ・各種たより、メール配信システム、ホームページ等を活用して保護者・地域の皆様へ情報を発信いたします。 ・学習面・生活面について、ご家庭でのご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。
--